



災害時における廃棄物収集運搬処理等の 7者協定を締結しました

7月25日、村と産業廃棄物処理業者5社(株式会社オカベ、株式会社常陽建商、株式会社東海クリーン、環境保全事業株式会社、有限会社茨城県リサイクル協会)、東海村環境整備事業協会は「災害時における廃棄物の収集運搬処理等の連携及び協力に関する協定」を締結しました。

近年、急激な気候変動に伴い、台風の大型化や線状降水帯、ゲリラ豪雨による風水害など、自然災害の激甚化・頻発化が顕著な状況にあります。本協定は、災害時に村内の複数の専門業者と廃棄物処理体制の構築や連携を行い、災害廃棄物を適切かつ迅速に処理することを目的としたものです。

■連携内容

- (1) 災害廃棄物の分別・収集・運搬
- (2) 災害廃棄物の処分
- (3) 仮置き場の管理
- (4) 仮置き場での災害廃棄物の分別・中間処理等 など



【写真左から】柴田健志さん(株式会社オカベ取締役営業本部長)、渡部諭さん(株式会社常陽建商代表取締役社長)、沼田元良さん(株式会社東海クリーン兼有限会社茨城県リサイクル協会代表取締役)、山田村長、荒木田泰治さん(環境保全事業株式会社代表取締役)、川崎敏秀さん(東海村環境整備事業協会会長)

協定に基づき、災害時における災害廃棄物等の収集・運搬をはじめ、仮置き場の管理や中間処理、最終処分に至るまで、村内の複数の専門業者と協力して、廃棄物処理体制を構築・連携します。

【問い合わせ】環境政策課ごみゼロ推進室(清掃センター内 ☎282-7289)

村内等で行われた活動やイベントを紹介します **ず〜むあっふ「まちの風景」**



戦 後80年、平和への願いを込めて 令和7年度「東海村戦没者追悼式」

8月23日、東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」で東海村戦没者追悼式が執り行われました。これは先の大戦でお亡くなりになった戦没者の方々に対して深い敬意を表し、ご冥福をお祈りするものです。式には戦没者の遺族や来賓など約70人が参列し、戦没者の御霊^{みたま}に対し追悼の辞を述べるとともに、平和を祈念して全員で献花を行いました。戦後80年の節目に、改めて世界の平和と人々の幸せを願うひとときとなりました。



原 爆投下から80年、戦争の悲惨さを後世へ語り継ぐために 令和7年度「第13回東海村小・中学校平和大使」広島派遣

8月5日から7日にかけて、村内小中学校の児童・生徒15人が平和大使として広島市を訪問し、各校で願いを込めて作成した折り鶴を奉納したほか、平和記念式典へ参列しました。また全国こども平和サミットや全国平和学習の集いにも参加。各地で行っている平和への取り組みを聞いたり、広島で生まれ育った同世代の子どもたちと意見交換をしたりと、平和な社会を築くための大きな一歩を踏み出しました。8月20日には東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」で体験報告会を行い、戦争の悲惨さや戦争を起こさせないために自分たちができることを、それぞれの言葉で伝えました。11月1日(土)の東海村文化祭でも報告会を行いますので、ぜひお越しください。